山行報告書

報告書作成	2005年5月18日

山名 [山域]	大白木山 (1234.4m　根尾村)	目的と方法	お花と自然を求めて
登山期間	2005年5月15日 (日)	山行形態	日帰り　ピストン
参加人数	5名		

行動記録

5/15 (日) 六名西信P (5:00) ===豊田東IC (5:25) ===東海環状===美濃IC (6:17) 1250円 (ETC早朝、通勤割引？) ===上大須 (7:20) ===折越峠P (8:00,8:10) ---登山口 (8:11) ---根上がり桧 (9:05,9:15) ---鉄塔29番 (9:30) ---鉄塔28番 (9:45) ---鉄塔27番10:15) ---大白木山頂 (10:33) ---中電小屋 (10:40) ---大白木山頂 (10:45,11:20) ---鉄塔27番 (11:35) ---鉄塔28番 (11:48) ---鉄塔29番 (12:00,12:10) ---根上がり桧 (12:15,12:20) ---登山口 (12:58) ---折越峠P (13:00,13:15) ===上大須ダム (13:33,13:45) ===武芸川温泉600円 (14:35,16:10) ===美濃IC (16:15) ===鞍ヶ池ハイウェイオアシス (16:50,17:10) ===豊田東IC (17:15) 1250円===六名西信P (17:50)

概念図

日誌

5/15 (日) 曇り,のち小雨　豊田東ICから東海環状道に入り岐阜県に入るころから曇り空になる。美濃ICで降りて国道418を通り、樽見で右折して大須方面へ向かう。途中トンネルを五つほど抜け上大須に入り、左手の[越田土橋]を渡る。橋のすぐ手前に駐車場とトイレが有る。ここでトイレを済ませておくと良いでしょう。橋を渡ると打越林道に入るが、林道の入口に林道災害復旧工事の為 [5月31日まで] 通行止め案内板あり鎖も掛けてある。一瞬ここから歩いて行くのかと思い車から降りて案内板をよく見ると工事現場は、ここから7,6km先との事、我々の行く打越峠登山口は工事現場より手前、鎖もすぐ外せる状態であったので、鎖を外し衝立も路肩によけて、車で乗り入れる。中に入ったら鎖、衝立を元に戻し打越峠へと向い8時00分に到着した。峠には祠がある。道幅が広いので、路肩に5～6台駐車できる。トイレ無し　登山口は峠から30mほど越波方面に下ったところの左側にある。登山口の標識はない。登山口からいきなり急登で手摺りにつかみながら登る。すぐに、ヤセ尾根に出て林道を右眼下に見ながら歩く。ヤセ尾根を過ぎたあたりで、登山道脇の草木に付いた夜露がずぼんを濡らす、また小雨模様になって来たのでカッパを着用する。ユキザサ、チゴユリ、なんとか？スミレなど見ながら歩いていると道は緩やかになり、間引きされた樹林帯の中では、花の終ったオウレンが一面に群落を作っている。風車状の実がおもしろい。根上がりの桧へは、約1時間で着くここは、絶好の休憩場所、天気が良ければ展望も良い。越波へ続く谷と新緑の山々が綺麗だ！！鉄塔29番は分岐になっており、山頂へは右へ進む。ここからは一旦大きく下ってなだらかな笹の道を歩く。それから鉄塔28番を右に見ながら前方の山を目指す。鉄塔27番少し手前では、ニリンソウの群落に出会う。サンカヨウも花を咲かせていた。鉄塔27番からは、プラスチック階段の急登で最後の頑張りどころ、山頂は2基の反射板がある。生憎の天気で展望なし、でも微風程度で山頂で新緑にかこまれ美味しく昼食をとる。下山は来た道を下る。帰りは大須ダムと武芸川温泉に寄り、岡崎に17時50分到着した。

感想

大白木山は、地図に山名の記載がない山であるが落葉樹の多い雑木山で春は新緑、花もけっこう多く　秋は紅葉が楽しめる山です。大白木に登る時誰にも会わず、静かな山と思っていたが下山途中では15名ほどの登山者と出会い、ちよっと賑やかな山となり人気のある山である事が伺えた。(隠れた名山で～す)